

令和5年10月26日

第57回九州地区特別支援教育研究連盟研究大会〈福岡大会〉参加のご案内

九州地区特別支援教育研究連盟  
会長 緒方 直彦  
(北九州市立門司総合特別支援学校長)

〈本研究大会の特長〉

- 参加しやすさ
  - ・ 通常の研究大会は、参加費として数千円かかりますが、**本研究大会は**オンライン開催のため**無料**です。大会要項は必要な部分のみ、印刷をお願いすることになります。
  - ・ 午後の半日開催としていますが、**移動に係る諸経費や所要時間が一切かかりません。**九州地区のすべての県（特に沖縄県、鹿児島県、長崎県）に離島がある状況からも好都合です。特別支援教育に携わっている先生方も、オンライン開催のため、**大会への参加中に必要に応じて、校務に戻ることが可能**です。また、補欠を管理職にお願いして、**学級を不在にする時間が、大幅に短縮**されます。
  - ・ 地域によっては、新型コロナウイルス感染症やインフルエンザが流行している昨今、オンライン開催のため**12月開催としては安全・安心**です。
  - ・ 定員が1,000名であるため、**より多くの先生方に参加していただくことが可能**です。参考までに、昨年度の本研究大会（オンライン開催）は約500名、本年度の本研究連盟全国大会（集合型）は約850名の参加者でした。
- 学びやすさ
  - ・ 平日午後に半日でのオンライン開催ですが、開会行事・分科会・記念講演・閉会行事のプログラムの、**どこから入場していただいても、どこから退場していただいても構いません。**必要に応じて、**何回でも出入り可能**です（ただし、つながりにくくなる可能性があることをご了承ください）。
  - ・ **7分科会**ございます。第6,7分科会は例年、九州各県の開催県が研究テーマを設定することとなっています。本年度はそれぞれの研究テーマを、「インクルーシブ教育システムの理念に基づく交流及び共同学習」「特別支援教育に係る人材の計画的な育成」としております。いずれも**特別支援教育の喫緊の課題に対応**するものです。同一学校・園内で、同じ分科会を視聴される方が複数名いらっしゃる場合は、代表の方1名に参加していただき、当日PC・タブレット端末等を、テレビやスクリーンにつなぐと、**より多くの先生方に視聴していただくことが可能**になります（参加される分科会ごと

に、参加申込みをしていただく必要があります)。

- 研究大会終了後、すべてのプログラムを、オンデマンド配信する予定としています。大会参加申込みをしていただくと、期間限定ではありますが、いつでも・どこでも・何回でも、視聴することができます。
- 記念講演は、昨年度の「福岡県特別支援教育研究連盟研究大会」で大変好評だった福岡教育大学大学院教授 牛島 玲先生にお願いしています。特別支援教育の基礎的・基本的な内容から、最新の教育行政に関する情報まで、幅広いニーズにお応えできるものと確信しております。教育現場にお勤めされていた牛島先生のお話とスライドは、大変分かりやすいです。ご期待ください。本講演は、すべての教員に特別支援教育を経験させるという文部科学省の施策に、つながる内容であると考えます。オンデマンド配信による動画を、各校・園での特別支援教育に係る校内研修として、活用されてみてはいかがでしょうか(参加申込みが必要となります)。

北九州市立門司総合特別支援学校 校長 緒方 直彦  
(九州地区特別支援教育研究連盟 会長)  
(福岡県特別支援教育研究連盟 会長)  
(北九州市特別支援教育研究連盟 会長)

事務局長：三輪 容子  
事務局次長：富里 拓哉  
会計・庶務：岡崎 仁美